鯖江高等学校 Regional Collaboration
地域協働ニュース 2022年3月23日 (水) 第21号
SABAE HIGH SCHOOL NEWSLETTER

実践活動報告会

普通科2年 鯖江市SDGs探究プロジェクト

令和４年３月 17 日(木)，普通科２年生が１年間取り組んできた「鯖江市ＳＤＧｓ探究プロジェクト」の集大成として，総合的な探究の時間に実践活動報告会を公開しました。

コロナウィルスの感染拡大の影響により延期となりましたが，７会場(7 教室)に分け，７名の助言者の皆さんには Google Meet によるオンラインでご参加いただき，無事に行うことができました。

６人前後のグループに分かれ，発表 → 質問 → 助言 → 評価感想記入の約 15 分サイクルで報告を行い，今年度の活動を振り返りました。鯖江市の SDGs を意識した探究活動のテーマはグループ毎に「フードドライブについて」「眼育について」「男女共同参画について」「ゴミ問題について」など様々です。

オゾンホールと眼育!?

「眼育活動の影響・効果について」をテーマにしたグループは，【SDGs 目標 3】すべての人に健康と福祉を【SDGs 目標 4】質の高い教育をみんなに，を意識して問題に取り組みました。

2050 年に近視割合が 50%を超える恐れがあるという研究結果から，それを防ぐにはどうしたら良いか？目の健康推進を図るにはどうしたら良いか？調べ学習を始め，目の異常には色々な原因が考えられるが，そのうちの一つとして，フロンガスによってオゾン層が破壊される → オゾンホールが発生する → 紫外線が大量放射される → 目に悪影響を及ぼす。と，様々なデータから，“フロンガスの発生が私たちの目の異常を引き起こすことに繋がる”と結論を導きだしました。

就学前の５歳児の視覚検査では，約３分の１の児童に視力低下や異常がみられるそうです。スマホを使い始めた年齢と，視力が下がり始めた年齢の統計を自分たちで合わせ，スマホ使用と視力低下の因果関係を示唆したグラフも，非常に分かりやすくまとめられ，近視防止に向けた新たな産業の創設を考えたいと締めくくりました。

とても丁寧に，論理的にまとめられていたこのグループには Best Logic 賞が贈られました。どのグループも，研究のまとめ方・スライドの作成・発表の仕方，全ての面で大変向上したと感じる発表会となりました。

苦労と工夫を重ねて

鯖江市役所より５名，さばえ SDGs 推進センターより２名の助言者の皆さんからは，長い時間を掛けて，ウェブを活用したり，色々なところに取材に行ったり，苦労と工夫を重ねてこの発表にたどり着いたのだと感じた。これからも様々なものごとに問題意識をもち，市民として声を上げていってほしいとエールをいただきました。

生徒の感想より

自分たちがしてきたことを全て伝えることができて達成感があった。

たくさんの方と協力して，深く SDGs を知ることができた。

残念ながらゴミ問題は解消されてなく，ゴミを減らせる開発に携わり，環境問題に目を向け，地域貢献をしていきたい。一人ひとりが 3R を意識することが大切だと感じた。

資料　地域協働だより

SABAE high school NEWSLETTER

Regional Collaboration

Mar.2022 / Vol.3

令和四年三月 第三号

鯖江高校 地域協働だより

SDGs とは，人類がこの地球で暮らし続けていくために，2030 年までに達成すべき 17 の目標です

鯖江高校では「持続可能な世界を築くためには，何をしたらいいだろう？」「SDGs の達成のために，自分はどんなことができるだろう？」一人ひとり，みんなが考えて行動することを大切に，地域と協働する高校教育のモデル，鯖江型高校教育「オール SABAE」を構築し，地域資源を活用した全科目・教科でのカリキュラム開発・授業実践を全国へ発信するよう取り組んでいます。

誰一人取り残さない

地域と協働する事業とは

生徒が地域の皆さんに協力いただきながら，地元に広く興味をもち理解を深め，そして
◇地域の伝統や文化を継承し，地域への愛着と誇りをもち，地域の未来を育てる市民
◇将来の地域コミュニティーを支え，多様な価値観を共有し，チャレンジ精神をもつ市民
◇持続可能な地域社会の形成に向け，貢献意識をもち，自ら考え行動する市民
になってもらおうという事業です。

SDGs ACTIVITIES OF THE YEAR

環境活動家 講演会

CLIMATE ACTION
気候変動に具体的な対策を

気候変動による様々な問題が今まさに目の前で起きていることを，生徒と同年代の環境活動家の講演により具体的に知り，私たち一人ひとりが意識改革をすることで未来を変えていける！日々の選択が地球を守る！何かを始めるのに大人になるまで待たなくていい！力強いメッセージを受け取りました。

働きがいも経済成長も
DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH

WLB ワーク・ライフ・バランス研修会

自分らしい自分でいるために自分の時間を大切にし，パートナーと常に話し合いをすることの重要性について確認し，仕事と生活(家庭)どちらかを犠牲にするのではなくそれぞれを充実させることで「相乗効果」を狙うことが大切なことだと学びました。

住み続けられるまちづくりを
SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

タイムリー鯖江
教員研修会

「都市計画」と「創造教育」が鯖江の課題であり，まちとひとの未来につながる。“鯖江の今と可能性の概論”をテーマに講義していただきました。

産業と技術革新の基盤を作ろう
INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

鯖江市の企業との交流会

先進的な取り組みをしている企業の方と直接交流させていただき，今必要とされているものを知り，自らそれに挑戦して試行錯誤を繰り返していくことが重要であることを教えていただきました。そして働くことの意義や，それによる社会貢献について真剣に考える機会をもちました。

What is the True Meaning of *Mottainai*?
地域との協働授業

つくる責任つかう責任
RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

「もったいない」の本当の意味を理解しているでしょうか？一人ひとりに問いかけ，「エシカル消費」をキーワードに環境問題を科学的にとらえ，エシカルマークを確認し，世界で起きているあらゆる問題と向き合いました。

日華化学の技術に学ぶ
特別授業

LIFE BELOW WATER
海の豊かさを守ろう

様々な高分子の構造について教えていただき，授業で学習する「化学」の内容が身近なものに応用され，実際に社会や人々の生活に役に立っていることに気付くことができました。また高分子の課題についても説明していただきました。

Leave no one behind

高校魅力化評価システム　Sustainable education and community in Sabae

2019 年度より，全校生徒・全教職員を対象とした，三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社による，高校魅力化アンケートを実施しています。
①学習活動　②学習環境　③生徒の自己能力認識　④生徒の行動実績　⑤満足度　の５つの側面から
◉主体性　◉協働性　◉探究性　◉社会性　の４つの資質・能力に関する領域に分類し
「時間軸(前年度からの伸び)」「学年軸(学年による違い)」「地域軸(他地域との比較)」　の３つの軸で整理し，高校魅力化の成果を明確に可視化し，教職員全体で次の一手を考える手法を学んでいます。

①学習活動

２年生の◉主体性 ◉社会性において，昨年より全ての項目で向上しました。入学時と比べ，学校外の色々な人に話を聞きに行くことや，地域課題の解決方法について考えることが，自主的にできるようになっていると考えられます。

②学習環境

「本音を気兼ねなく発言できる雰囲気がある(◉探究性)」項目において，教職員が考えるより 10p 以上も生徒はより良い環境であると評価しました。努めて人と違うことを尊重する(◉協働性)など，教職員の今後の課題も明確となりました。

③生徒の自己能力認識

「選挙権を取得したら，選挙に行くと思う(◉社会性)」項目において，他地域と比較しても選挙に行くと回答した割合が高く，各学年昨年と比べ 10p 以上向上しました。
◉協働性における受容力・対話力は９割以上の生徒が肯定的でした。

④生徒の行動実績

２年生の◉主体性「授業で興味・関心をもった内容について，自主的に調べものを行った」項目において，昨年と比べ 20p 以上向上しました。
一方３年生の◉社会性に関わる行動においての低下は，コロナ禍での活動制限が影響していると考えられ，今後対策を講じていく必要があります。

⑤満足度

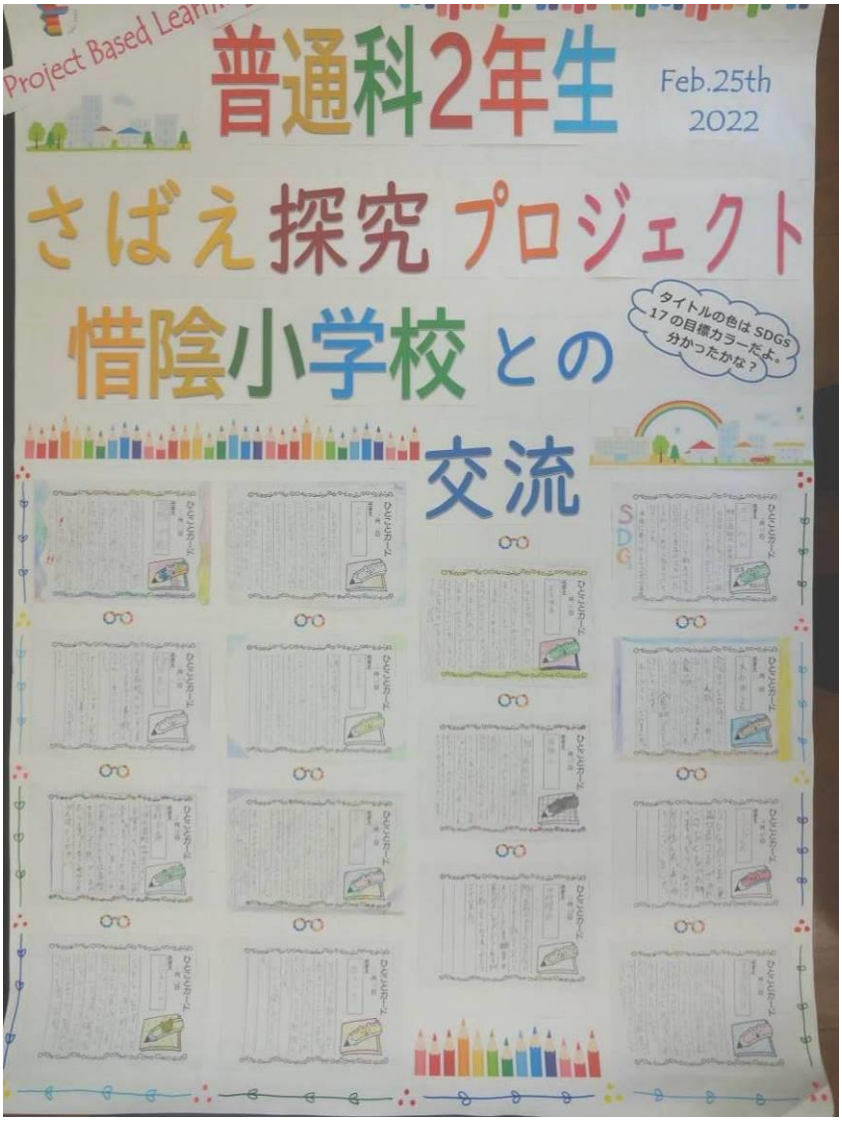
「国際社会の課題解決に貢献したい」項目において，昨年と比べ 10p 以上向上しました。地域のみならず，世界で起きている様々な課題に目を向け，自分ごととして捉えられるようになっていると考えられます。
誰一人取り残さず，生活全般に対する満足度の向上を目指していきます。

文部科学省が打ち出した教育改革推進事業に，令和元年度より3年間の研究指定を受け，目標を「地域への愛着とチャレンジ精神をもち，地域の未来を育てていく市民の育成」として研究開発に取り組みました。

令和元年6月には，鯖江市・鯖江商工会議所との三者連携協定を結び，また令和3年2月には，仁愛大学との高大連携・高大接続に関する協定を結びました。この3年間，民間企業や団体・機関等，多くの地域の方々の参加・協力のもと，地域全体で鯖江高校生の学びや成長を支えていただきました。

今後も，地域の方々のご支援に感謝し，連携を更に深め，研究開発を進めていきたいと考えています。

【写真資料】小学校との交流

オンラインでの小学生との交流

小学生の感想